

# 土台にはAQ2種 (JAS K3相当) の 保存処理材を！

土  
台

外壁下端に水切りを設けたうえで  
**AQ2種(JAS K3相当)**の  
保存処理性能を推奨いたします。



D1特定樹種でもAQ2種(JAS K3相当)  
の保存処理を推奨します。

公的な仕様書などでは、ヒノキ等のD1特定樹種は一般的に保存処理が不要と受け取られておりますが、**その耐久性は心材で評価されたもの**です。

D1特定樹種でも**辺材は、腐朽やシロアリの被害を受けやすい性質**を持っておりますので、**AQ2種(JAS K3相当)**の保存処理を推奨いたします。

# 主な保存処理土台 ラインナップ

■OPドライスケヤー バイツガ  
(めりこみ強度:6.0N/mm<sup>2</sup>)

■OPドライスケヤー バイマツ  
(めりこみ強度:9.0N/mm<sup>2</sup>)

■OPドライスケヤー ヒノキ  
(めりこみ強度:7.8N/mm<sup>2</sup>)

深浸潤  
処理  
AQ  
2種  
JAS K3相当  
乾燥材  
劣化等級  
1~3  
対応



■OP集成スケヤー RW  
(めりこみ強度:6.0N/mm<sup>2</sup>)

■OP集成スケヤー バイマツ  
(めりこみ強度:9.0N/mm<sup>2</sup>)

■OP集成スケヤー ヒノキ  
(めりこみ強度:7.8N/mm<sup>2</sup>)

深浸潤  
処理  
AQ  
2種  
JAS K3相当  
乾燥材  
劣化等級  
1~3  
対応



■PGスケヤー バイツガ  
(めりこみ強度:6.0N/mm<sup>2</sup>)

加圧  
注入  
AQ  
2種  
JAS K3相当  
GRN  
未乾燥  
劣化等級  
1~3  
対応



■加圧注入処理 (湿式)

PGスケヤーとBMスケヤーに用いられる処理方法。JIS K 1570の木材保存剤を使用し、JIS A 9002の定める保存処理方法で処理いたします。



■深浸潤処理 (乾式)

OPドライスケヤーとOP集成スケヤーに用いられる処理方法。水を一切使用しない油性薬剤で、寸法精度を必要とする乾燥材、集成材に使用いたします。



■BMスケヤー バイマツ  
(めりこみ強度:9.0N/mm<sup>2</sup>)

加圧  
注入  
JAS  
K3  
GRN  
未乾燥  
劣化等級  
1~3  
対応



商品名	樹種	保存処理方法	保存性能	出荷状態
OPドライスケヤー	バイツガ・バイマツ・ヒノキ・スギ	深浸潤処理	AQ2種(JAS K3相当)	乾燥材
OP集成スケヤー	オウシュウアカマツ(RW)・バイマツ・スプルース・ヒノキ・スギ・カラマツ	深浸潤処理	AQ2種(JAS K3相当)	乾燥材
PGスケヤー	バイツガ、ヒノキ、スギ	加圧注入処理	AQ2種(JAS K3相当)	GRN材
BMスケヤー	バイマツ	加圧注入処理	JAS K3	GRN材

